



# 奈良21世紀フォーラム会報

## 2005年新年号

水源の森風景 森と水の源流館提供写真

### 2004年の活動実績

#### 1. 地域の歴史伝承

- 伝統産業の製造工程をデジタルアーカイブとして残す…「奈良の墨づくり」を国の補助事業として受託

#### 2. 吉野川の水源涵養林保全事業に協力

- 小学生向け水源の森副読本を増刷
- 森と水の源流館の活動に協力

#### 3. 万葉けまりの競技公開活動

- 橿原神宮の春の大祭に奉納(2004.4.3)
- NHKドラマ「大化の改新」に協力出演
- 日韓交流フェスティバルに参加(2004.8.21)
- 四天王寺ワッソに参加(2004.11.7)

#### 4. 大和の食文化を見直す

- 高取町「花大和」で薬膳料理を食す(2004.6.19)
- 三輪ソーメンの手作り体験(2004.11.13)

#### 5. イタリアとの文化交流活動支援…古都奈良で「日本トスティ協会」設立へ

### 2005年の活動予定

#### 1. 吉野川源流の森支援

#### 2. 食文化など会員の体験参加行事をふやす



四天王寺ワッソ参加写真  
(演台に向かって行進する  
けまりチーム、ワッソ文化交  
流協会撮影)



「万葉けまり」は今年初めて「大和」から「なにわ」へ進出。



日韓交流フェスティバルでの模範演技(大阪長居球技場)

2004年8月の日韓交流フェスティバルに  
続き、2004年11月7日の四天王寺ワッソ  
に参加、大観衆を前にけまりの演技を披  
露した。

またNHKの正月ドラマ「大化の改新」  
に協力出演。



#### イタリア歌曲「日本トスティ協会」設立へ

古都奈良—イタリア・オルトーナ文化交流実行委員会より次のよう  
な、うれしいお知らせをいただきました。

実行委員会は新たに日本トスティ協会としてスタート  
いたします。これまでセミナー、コンサートをはじめとして、  
イタリアトスティ協会と9年にわたり、数多くの事業、交流  
を展開してまいりました。2003年10月には、トスティ歌曲  
国際コンクール日本予選大会という大きな事業を開催し、  
2004年のイタリア大会に日本代表として、若い声楽家3  
名を派遣いたしました。

文化の交流を柱に、2007年には第2回トスティ歌曲国  
際コンクールアジア予選大会の開催、2010年の平城京  
遷都1300年という歴史的節目の時代を歩んでまいります。  
「日本トスティ協会」に変わらぬご協力、ご支援を賜りま  
すようお願い申し上げます。

2004年5月8日 奈良市登美ヶ丘の「松柏美術館」において平成16年度の通常総会を開催。総会后、上村画伯  
の記念講演「花鳥画の世界」を開き、展示鑑賞や園内散策、旧佐伯邸見学。

(写真左 松柏美術館遠景、写真右 総会風景)





【食文化シリーズ1】

2004年6月19日、日本最古の薬の町高取町を訪れ、薬箱風の入れ物に入った薬膳料理を賞味。蒙古鹿の角の薄いスライスなど日頃お目にかかれぬ食べ物も。

食後、町内のボランティアの方々のご案内で高取町の目抜き通り「土佐街道」を中心に散策。



【食文化シリーズ2】

2004年11月13日、「見て、ふれて、味わって…1200年の伝統を体験」をテーマに麵ゆう館を訪れ、老いも若き(?)も童心に戻って思わず漏れる歓声や笑顔のなか手延べ体験をし、帰宅後も中々お目にかかれぬ生そうめん

んに舌鼓をうった。また、大和ハウス工業総合研究所では、皆さん関心大の耐震住宅等々、予定を大幅に超過して見学「環境共生」を実感した。



水源地の村 川上村が「循環・共生・参加まちづくり表彰」(環境大臣賞)に選ばれました。



森守募金を手伝う足立さんと榎原さん(左端は館長)

私たちは、水源涵養林の保全に努力されている川上村の取組みに賛同し、これまで支援・協力をしてきました。川上村の「水源の森」を守る取組みは全国でも高く評価され、16年度の「持続可能な地域づくり」で顕著な実績を上げている市町村(全国で10市町村)に選ばれました。

### 古都奈良の墨づくりをハイビジョンで記録保存

奈良を代表する伝統産業の一つ「墨」がどのように作られるのか。この秋から奈良21世紀フォーラムは400年の伝統を誇る墨づくりの老舗、奈良の古梅園を中心に、最新の高精細なハイビジョンカメラを駆使して「古都奈良の墨づくり～窮極の墨の色を求めて」を制作しています。

奈良21世紀フォーラムでは、かねてから古都奈良を元気にするには、政府が国家戦略として構築を進めている超高速の情報通信網を利用して、古都奈良一大和路に残る世界遺産を魅力的な映像情報として全世界に発信するのが、一番効率的で効果が期待できると考え、準備を進めてきました。

ところが経済産業省など3省庁が、今年度の企画として「日本の優れた伝統産業の技術をハイビジョンで記録保存する」事業をテーマにとりあげ提案を募集しました。



「紀伊山中で珍しい松煙墨をつくる」ところの撮影風景

このため「古都奈良の墨づくり」を提案したところ、全国から寄せられた7件の中から「墨」が能登の「うし」とともに採用になり、制作費の半額を国が補助することになりました。

手づくりの良質の墨の生産は奈良が全国の90%を占めています。しかし最近のワープロ、インターネット、携帯電話などの普及で私たちは「文字」を書かなくなり、古都奈良の墨づくりはいま存亡の危機に瀕しています。完成は新春3月末、ご期待ください。

編集 大辻康夫 池辺忠男 榎原陽子  
 発行 特定非営利活動法人  
 奈良21世紀フォーラム  
 〒630-8114 奈良市芝辻町4-3-1  
 ラックエリア橋本ビル5F  
 Tel/Fax 0742-35-7007  
 e-mail [nara21c@r5.dion.ne.jp](mailto:nara21c@r5.dion.ne.jp)  
<http://www.h7.dion.ne.jp/~nara21cf>

#### 監事

福嶋茂博 中喜大

#### 理事

榎木康夫 谷口和夫

専務理事 扇谷泰之

理事長 石橋敬一

#### 【理事紹介】

源流の森保全事業に協力して

お手伝いをしていただける方。

企画局・各種イベント企画)の

事務局(編集局・ホームページ作成、

ボランティア募集

それは奈良21世紀フォーラムです。

あなたを必要としているか

社会の誰がいま

会員募集